

市民公益活動を支援します！

# CNSuita

市民ネットすいた Civil Network Suita

# ニュース

## No.7

発行日 2013(平成25)年6月1日

発行所 NPO法人市民ネットすいた  
(吹田市立市民公益活動センター指定管理者)

## 通常総会 5 月 12 日に開催、新年度計画スタート！

NPO法人市民ネットすいた通常総会を5月12日に開催し、2012年度事業報告並びに決算、また、2013年度事業計画並びに予算の全議案について、全員一致で承認されました。本号では、そのうち2013年度事業計画について、概要を紹介します。

挨拶する  
理事長 長谷川美津代



### 2013年度事業計画のあらまし

今年度は、昨年9月に開設された、吹田市立市民公益活動センター(ラコルタ)の管理運営を中心に吹田市内で活動する市民公益活動団体に対する中間支援活動をきめ細かく進めます。また多くの市民に対する働きかけをすることで、市民公益活動への理解を得ると共に、特に、若い世代の新しい担い手が生まれる努力をしていきたいと考えています。

具体的には、主に以下の事業に取り組めます

#### 1. ラコルタの管理運営(指定管理者としての事業)

##### (1) 市民公益活動に関する相談事業

市民公益活動に関する相談受付・対応の充実。

##### (2) 市民公益活動に関する情報提供

ウェブサイトの運営、ニュースレターの発行、メールマガジンの発信および「ボランティアグループ・NPO ガイドブック」の発行。

##### (3) 市民公益活動に関する講座・研修事業

一般市民や活動を始めたい人を対象とした講座・研修、NPO法人を知りたい人・団体を対象とした講座・研修および市民公益活動団体を対象とした講座・研修。

##### (4) 市民公益活動団体相互および市民・事業者・行政・地域社会等との交流・連携を促進する事業

- ① 市民公益活動のフェスタ、分野別団体交流会、市民協働マッチング会、現場で学ぶ団体運営学習会テーマカフェおよび「このゆびとまれ」の会の実施。

②新たに、東日本大震災と原発事故により吹田市内に避難された方からの相談窓口および北摂地域無料法律相談窓口を開設。

(5) 市民公益活動に関する調査・研究・政策提言等の市民公益活動の社会的環境整備を行う事業  
新たに、「(仮称)だれにでもできる社会貢献ガイドブック」の作成・発行。

#### 2. 「市民ネットすいた」の自主事業

##### (1) 市民公益活動に関する情報提供・広報を支援する事業

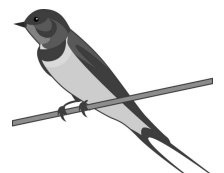
ホームページの運営および広報紙とメールニュースの発行。

(2) 市民公益活動団体相互および市民・事業者・行政・地域社会等との交流・連携を促進する事業  
「復興支援すいた市民会議」に加わり、市民活動団体の連携を促進。

(3) 市民公益活動拠点施設を管理運営する事業  
他市の市民活動支援センターとの交流を強化。

##### (4) 市民公益活動の促進のための社会的な環境の整備を行う事業

シンポジウム「(仮題)吹田の活動実態を探る！～ボランティアグループ・NPO 実態調査を終えて～」の開催。



## 模型や画像で地域歴史を語る

## NPO法人模型と画像で歴史を語る研究会



代表 秋元 宏

NPO法人模型と画像で歴史を語る研究会は設立以来9年、名称のような活動をする団体です。模型や画像を製作（制作）することが好きな人たちが集まって活動を続けています。

地域の自然環境の発達史や郷土の歴史について模型や画像などの資料を使って解説する講演会・展示会などを数多く開催してきました。

また、姉妹団体である吹田地学会や「模型大学」などのメンバーとも協力し、現地見学会など多様な活動をしています。

私自身は少年時代から鉄道模型やその他の模型作りが好きで、数多く作品を作ってきましたし、今も続けています。「模型大学」のメ



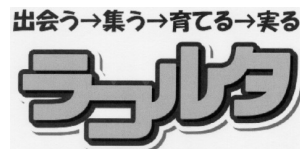
活動風景

ンバーが各地で開催する運転会などにも作品を持ってよく出かけます。

上記「自然環境の発達史・・・」については、地質模型制作もしています。地下の様子をも表している地質図を専門家以外の市民が理解することはなかなか難しいので、それを立体的にしてわかりやすく表現した地質模型を作っています。つまり地質模型によって、その地域の自然環境発達史の概略を科学的に知ることでもできるからです。その模型作品の1つに吹田市域が含まれる「千里丘陵とその周辺地域の地質模型(1/2.5万)」があります。この模型はふだん万博記念公園内にある自然観察学習館に火山灰や他の岩石標本などとともに展示してありますので、皆さん機会があれば観察していただきたいと思います。

## 「ニュータウン魂」に火がついて

## 千里市民フォーラム 運営委員（広報） 奥居 武



（奥居さんには「ラコルタ」のキャッチフレーズを提案いただきました。）

1964年、5歳のときに千里ニュータウンの開発とともに越してきて、吹田市民になりました。「地域活動」というものに踏み込んでしまったのは2006年、吹田市立博物館「千里ニュータウン展」の市民委員になってニュータウンの特別展示に関わってからです。ここから「ニュータウン魂」に火がつき、誘われるままあれやこれや…首を突っ込んでしまいました。

2010年春から3年間、吹田・豊中両市のニュータウン住民を中心としたネットワーク「千里市民フォーラム」の代表をつとめ、今は広報を担当しています。ニュータウンで楽しいことをやってみたい人たちの集まりです。会員数126名。まだ増やしたいです。日本最初のニュータウン・千里の開発～成熟～再生をばっちり目撃してしまい、こんな面白い町に関わらない手はない、自分たちでも何かやってみましょうと。「ニュータウンを楽しみながら広告する」ことが自分の本分だと勝手に思い込んでいます。個人的に全国のニュータウンを訪ね歩いて90ヵ所以上回りました。

ボランティアはいろんな人に会えるし自分の世界が広がるし、やっていること自体が「貴重な収穫」なので、それ以上の見返りはなくていいものだとは割り切ってます。「市民ネットすいた」には「千里市民フォーラム」と同じような中間支援の趣旨を感じて入りましたが、ボランティアでもなんでも、「楽しめることしかない」つもりです。選んで自分からやっているはずですから…。大阪の人は「おもしろがり」で「イッチョカミ」で、ニュータウンはしがらみが浅い「フラット社会」だから、ボランティアが活発になる素地は十分ありますね。ラコルタには柔軟で闊達でハイレベルな活動を期待しています。

## 市民公益活動という場面でのそれぞれに…

吹田市民NPO・代表理事、  
グループホーム「あい」・ホーム長



高橋 清美

市民公益活動という未知の世界に飛び込んだきっかけは、2000年5月に発足した吹田市の「行政との協働を考える市民会議」に参加した事からです。「そうか！こういう世界があるんだ」、という実感を強く持ったことを覚えています。その後好奇心旺盛に、様々な人との出会いがあり、現在認知症の高齢者のみなさんが共同で生活する場を担うグループホームに専任しています。

わたし達は、『“ゆっくり、一緒に楽しく”心地よい居場所を作り上げる家(ホーム)です』を理念に以下のようなケア指標の実現に努めています。

① 共同生活の楽しみ分かち合う暮らし ② 地域の人と人、みんな輪になる暮らし ③ 穏やかで、安らぎのある暮らし ④ 自分で出来る喜びと達成感のある暮らし ⑤ 自分らしさや誇りを保った暮らし ⑥ 生活のほりあいや楽しみがある暮らし。そしてこの私たちの思いを実行していくものとして、認知症になっても馴染みの地域で暮らし続けられる…そんなネットワークをめざして地域での啓発活動(認知症サポーター養成講座の開催など)に取り組み、地域貢献という目線を大事にしています。

認知症の人たちが地域住民とともに住み慣れた地域の中で暮らす事は容易ではありません。しかし現実には認知症の高齢者が増加している事は確実です。その家族のみなさんがその介護で困っている事も事実です。ですからこういう現実の中で、少しでも認知症の事を理解している市民が増え、ネットワーク的な役割を担う、その働きかけをわたし達がしていく事は重要だと思っています。

グループホーム「あい」の小さな事業所でどこまで出来るのか。とも思いますが、出来る事を出来る範囲でそれぞれが協働していく事で前進するものと思います。

こんな思いを胸に抱きながら日々ホームのみなさんとお喋りをしています。関心のある方の見学、いつでも受け入れています。

## 「お料理で地域貢献できるかな？」

おなか吹田プロジェクト すいたまん塾



代表 田中 俊子



(「ラコルタ」キャラクタを  
提案いただきました)

すいたまん塾はまちづくり市民塾の1つとして2010年8月に発足し2012年3月までの市民塾任期中は「吹田らしいご当地グルメを作ろう!」をテーマに地産地消のお饅頭「すいたまん」を作って、イベント出展や料理教室をしていました。

発足当初、1種類だったすいたまん。市民の皆さんのアンケートを基に開発を重ね、5種類5色に増えました。料理コンテストに出品しグランプリをいただいたことも。

市民塾任期満了後は「すいたまん」に限っていた活動スタイルを、お料理を通した地域貢献に広げたい…という思いから「おなか吹田プロジェクト」を会の名称に加え「おなか吹田プロジェクト・すいたまん塾」という、少しばかり長すぎる名前で活動しています。

現在は他団体さんとコラボレーションイベントや地元食材の料理教室、東北支援チャリティーをメインに活動しています。

月の最終金曜日の打ち合わせの会場でラコルタを使わせていただいている事からご縁をいただき、ラコルタのキャラクターの原案を描かせていただきました。

今後は6月8～9日(土日)に「ドーンと東北」というドーンセンターの東北女性支援イベントで東北3県の郷土料理弁当のプロデュースと大阪の野菜を使って東北の郷土菓子を作るワークショップを開催します。6月23日万博記念公園 DILIPA 食育シンポジウム「子供茶屋」7月6日さんくすホール「すい茶屋」7月25日 SING さんと共催で留学生とお国自慢「屋台メシ交流会」を開催します。 ブログ「それいけすいたまん日記」でも情報公開しています。

<http://suitaman.citylife-new.com/>



## 大阪商工信金社会福祉賞2団体受賞

5月7日、大阪商工信金において、「大阪商工信金社会福祉賞」審査の結果、市民ネットすいたが推薦した「千里新田地区まちづくり協議会」、および「特定非営利活動法人ハニー・ビー」の2団体が「奨励賞」を受賞しました。

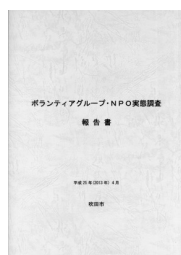
「千里新田地区まちづくり協議会」は、子どもや高齢者が生き生きと暮らし、安心・安全で快適なまちづくりを目指す地域住民有志の団体であり、「特定非営利活動法人ハニー・ビー」は、障がいがあっても働ける社会を目指し、就学からの療育支援や、プロのパン職人をめざす「僕らも働けるんや」プロジェクトなどを推進しています。



## ラコルタ・ミーティング

### ～実態調査から市民公益活動の未来を考える～

吹田市のボランティアグループ・NPO実態調査報告書が完成しましたが、発行者吹田市と企画編集のCNSが共催で、現在の市民公益活動団体の実態を見ながら、今後の市民公益活動促進を考え、課題解決に向けた意見交換や交流促進を図る場を設けます。



奮って皆様ご参加ください。

- 日時 7月21日(日)午後1時半～4時半
- 会場 「ラコルタ」会議室
- 定員 30名 (参加費 不要)

## KNN第22回研究会を開催

3月1日、KNN(関西NPO支援センターネットワーク)第22回研究会をラコルタ(吹田市立市民公益活動センター)で開催しました。KNNは2005年4月に結成されたNPO支援センターのネットワークで、大阪府を中心に兵庫・滋賀・和歌山の1府3県にまたがる25団体に参加しています。今回の研究会は、「NPO法人市民ネットすいた」が企画運営を担当し、各地から25名の方が参加されました。今回のケーススタディのテーマは、「地域課題解決における中間支援のあり方」で、地域コミュニティの課題の抽出とその解決策について、4グループに分かれて熱心な討議が行われました。(写真は、各市一体のグループワーク風景です。)



## センター利用者懇談会参加者募集！

市民公益活動センター「ラコルタ」では、市民の皆さんと一緒にセンターの運営について考えます。利用者であれば団体でも個人でも歓迎しますので、センターの運営に参画してください。たくさんのご参加をお待ちしております！

- 日時 6月25日(火)午後1時半～3時
- 場所 吹田市立市民公益活動センター  
「ラコルタ」会議室

**編集後記**・梅雨を迎えて、晴耕雨読ならぬ企画や会議の毎日。・自分たちの出来る範囲で自分たちのまちを住みやすく良くしたい。そんな思いが市民活動の原点でしょうか。・熱心な市民の積極的な活動によって、吹田のまちも少しずつ変わりつつあります。・センター事業として取組んだ「ボランティア・NPOガイドブック」も今年は54団体も掲載数が増えました。・それぞれの地域、分野で市民力を結集して、実り多い収穫を実現して行きたいものです。

## CNSuita ニュース

NPO法人 市民ネットすいた

ホームページ [市民ネットすいた](http://www.city-suita.lacolta.jp) も検索ください

事務局 〒565-0862 吹田市津雲台1-2-1  
千里ニュータウンプラザ6階

TEL 06-6875-7459

FAX 06-6875-7461

E-MAIL [mail@cnsuita.com](mailto:mail@cnsuita.com)

情報のご提供、ご意見などお寄せください。